

リーディング問題を指導改善につなげてみませんか。

2021年から新たに始まった「大学入学共通テスト」の外国語(英語)では、リスニング問題・リーディング問題の両方が、昨年度までの「大学入試センター試験」から大きく変わりました。今号では、リーディング問題を切り口に、中学校での授業改善やテスト問題作成につなげるポイントを紹介しします。

外国語(英語)リーディング問題において変わった点

- 発音やアクセント、語句整序や文法・語法の問題はなく、大問すべて読解問題となっている。
- 読解量(単語数)が増加している。
- 複数の資料を読み解かせる問題が出題されている。
- 実際のコミュニケーション場面が設定されている。**

大学入試センターのHPには、今回の問題が夏頃に掲載される予定です。
(予備校のHPには掲載されています。)
ぜひ、一度ご覧になってください。



上記からわかるように、設定された場面をおさえるとともに、それに関連する図表などの資料から情報を読み取ることも求められています。英語科通信第5号で示した「**実際の場面で生きて働く力**」が、リーディング問題においても求められています。このような視点を、日々の授業の言語活動や、テスト問題(リーディング)作成に取り入れてみませんか。



リーディング問題における場面と関連する中学校の言語活動

【実際の場面を設定】

大問1 A.スマホ上のメッセージのやりとり
B.ファンクラブ入会のウェブサイト

⇒相手からの要求等の必要な情報を読み取る問題等

大問5 学校でのポスターを使った発表

⇒概要を把握し、タイトルを答えさせる問題等

大問6 A.スポーツにおける安全性
B.甘味料の栄養素

⇒要点を把握し、適切な内容を選ぶ問題等

【中学校の言語活動(思考力、判断力、表現力等)】

○日常的な話題について、簡単な表現が用いられている広告やパンフレット、予定表、手紙、電子メール、短い文章などから、**自分が必要とする情報を読み取る活動**

○簡単な語句や文で書かれた日常的な話題に関する短い説明やエッセイ、物語などを読んで**概要を把握する活動**

○簡単な語句や文で書かれた社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや写真、図表なども参考にしながら、**要点を把握する活動**

参考:「中学校学習指導要領(平成29年度告示)解説 外国語編」p.59,60

テスト問題(リーディング)作成時のチェックポイント

(今年度のテスト作成を想起して、チェックしてみましょう。)

- 実際の場面を設定している。**
- 図表などの資料を読み解く問題を出題している。
- 長文を読み、自分の意見や考えを書く問題を出題している。
- 必要とする情報を読み取ったり、概要や要点を把握したりする問題を出題している。
- 初見の問題を出題している。

(教科書や副教材の本文のみの出題になっていない。)



【既存の教材を有効活用しましょう!】

言語活動やテスト問題を作成するに当たり、毎回全てオリジナルのものを作るのは大変です。そこで、既存の教材を効果的に活用してみませんか。

○中学校外国語教材Bridge
(文科省作成)

○平成31年度全国調査英語問題

○教科書の付録にある読み物教材

○英語教育ポータルサイト

「えいごネット」(文科省後援)



今号では、「大学入学共通テスト」を切り口として、中学校の指導につなげるポイントを紹介しました。まとまりのある文章を読むことは、経年的に岡山県の生徒が苦手としている課題の一つです。普段の授業で上記のような言語活動を取り入れたり、定期テストで場面が設定された初見の問題を出したりしてみませんか。また、紹介した既存の教材を学習等の時間を利用して、継続的に「読む」活動を取り入れることも効果的です。他にもアイデア等がありましたら、本通信担当までお知らせください。

